

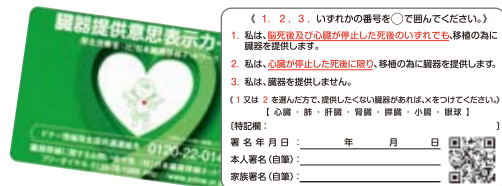
多くの人達によって支えられている臓器移植医療は、善意の臓器提供があって初めて成り立つ医療です。
本人の意思が不明な場合には家族の承諾で臓器の提供が可能ですが、家族が判断に迷わないためにも家族と話し合い、意思を表示しておくことは重要です。
臓器提供の意思表示方法は、大きく分けて3つの方法があります。
現在は、保険証・運転免許証の裏面に意思表示欄の設置が進んでいます。
ご自分のものを確認して、意思表示欄があれば家族と話し合って意思を記入しておきましょう。

意思表示の方法

1 インターネットによる
意思登録

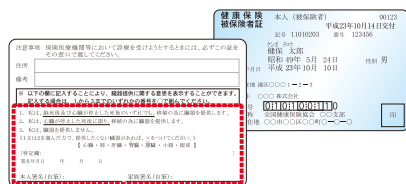


2 意思表示カードへの記入

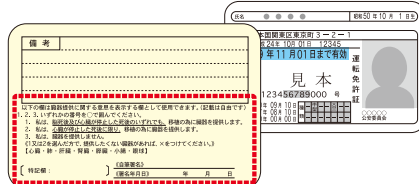


意思表示カード

3 保険証・運転免許証の意思表示欄への記入



保険証の意思表示欄(例)



運転免許証の意思表示欄(例)

話そう。
大切な人と。

グリーンリボンキャンペーン2011のメッセンジャーを務める関根麻里さんは、免許を取るために教習所に通っていた時に意思表示カードを見つけて、意思表示をしたそうです。
ふだんから家族と話し合うことの大切さを伝えているポスターの掲示にご協力いただける方は、下記までご連絡ください。



携帯やパソコンから
臓器提供の意思を登録しましょう!

ホームページ <http://www.jotnw.or.jp>
モバイルサイト <http://www.jotnw.or.jp/m>



パソコン、携帯電話から臓器提供に関する意思の登録が可能です。登録後、IDの入った登録カードが発行され、本登録が完了すると、臓器提供の際に本人意思を確認する対象となります。

臓器移植に関するお問い合わせ先

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-5-16 晩翠ビル3階

携帯電話からは

☎0120-78-1069 ☎03-3502-2071

<http://www.jotnw.or.jp> にもさまざまな情報が掲載されています。



JOTNW (社)日本臓器移植ネットワーク

臓器を提供してもよいという人(ドナー)やその家族の意思を生かし、臓器を提供してもらいたいという人(レシピエント)に最善の方法で臓器が贈られるように橋渡しをする日本で唯一の組織です。

<http://www.jotnw.or.jp/m>

●医療機関の皆様へ

脳死後でも心停止後でも、ご本人の意思が不明な場合、ご家族の承諾で臓器が提供できるようになりました。ドナー情報には、24時間対応しております。
ご本人の臓器提供を希望する意思表示があるか、ご本人の意思が不明な場合に、ご家族が臓器提供について説明を聴くことを希望されましたら、下記フリーダイヤルにてお知らせください。

ドナー情報用全国共通連絡先 ☎0120-22-0149



あなたの遺志を継ぐのは、
あなたが愛してくれた家族です



あなたの愛する家族

再会

父さん、お久しぶりです。去年、この合同慰霊祭で再会して以来、一年ぶりだね。「また会える 誰かは分からないけど、きっとこの会場のどこか近くにいる。」そう思い、今日のこの日を楽しみにしていました。

慰霊祭でのご挨拶のお話を頂いた時には、「父に話ができる」と喜びました。だから今日は、「ここにいるあなた」にどうか聞いてほしい。

そのとき、あなたが何を伝えたかったのか

あなたが突然倒れたのは、まだ少し肌寒い日のことでした。毎年、この頃になると思い出します。会社で会議中に倒れ、幸いにも近くの病院に搬送されました。

診断の結果は脳幹近くでの脳室内出血でした。結局、最後に母さんとだけ言葉を交わしたね。その言葉を最後に、意識を失いました。それから、ずっとそのまま。

ICUで意識を取り戻したときは、本当はどれだけ嬉しかったか。喜ぶと、「諦めてた」ことの裏返しになると思って、家族の前ではそんなに顔には出さなかったけど。「オヤジも頑張ってるんだから、俺も頑張らなきゃ」って決めて諦めなかったよ。受験よりも、部活よりも、就職活動よりも、たぶん我ながら、今まで一番頑張ってたと思うよ。しゃべれなかったけど、ある時、僕の握った手を握り返してくれたね。何か言いたくても声が出なくて、つらかったらうね。そのとき、あなたが何を伝えたかったのか、ずっと考えてるけど、まだ分かりません。デキの悪い息子ですまないけど、それが分かるのは、きっともっと先になるかもしれない。

ジレンマ

それから2週間ほどして、主治医の先生から臓器提供について聞かれたときには、正直戸惑いました。まだ、回復の可能性が絶たれたわけではないのに、でも、もしその時がきたときのために、様々な準備を行わなければならない。そのジレンマに悩まされました。あなたがもし望んでいたのなら、黄色いカードを探さねばならない。カードは母さんが探しました。クローゼットの中、ジャケットの中、かばんの中、財布の中、いろんなところを探したのだと思います。

「あなたの意思を尊重すること」と「諦めないこと」との間できっと母さんも苦しんでいたんだと思うよ。でも結局、父さんはカードを持っていなかったね。

僕の父さんでいてくれて、ありがとう

あなたが家族に決断させた最期の時

それから一ヵ月、意識は戻ることはなく、脳死と診断されました。ずっと泣かずに堪えていたのに、無理でした。余りにも早い。悔しくてしょうがなかった。どうにか助かってほしかった。心停止までの数日間、お別れを言い、多くの人が訪ねてくれました。多くの人に、あなたの人柄を聞くことが出来ました。これから、あなたから教わるはずだった、何年分もの指導をしてもらいました。いろんなエピソードを聞きました。普段家では見せない趣味、やっぱりいびきはうるさいこと、聞いたことのないカラオケの話、あなたという人間を知りました。部内のバレンタインやホワイトデーのチョコの代わりに寄付を募り、世界の恵まれない子どもへの寄付活動をしていたこと。あなたの大きさ、優しさ、そして、なによりも「人のため」に生きてきた人だったこと。

臓器提供を決めたのは、家族の決断ではありません。あなたが家族にそうさせたんです。あなたは最後まで「人のため」になろうとしてたんですね。法改正以降、世の中は変わりつつあります。悲しいけれど、誰かの死によって、助かる命がもっと助かるようになりました。あなたも望んでいた世界だと思えます。

移植を受けた人への想い

あなたの腎臓は二人の男性の元へ行きました。「父の分まで元気でいてほしい」「父の分まで生きてほしい」「父ができなかった事を一緒に経験してほしい」その思いは直接伝えることは出来ないけど、遺族の想いをくんで、この先、生きてほしい。父の死を無駄にしないでほしい。そう望んでいました。その一方で、長く苦しんできたその二人は、臓器移植によって、ようやく透析から解放され、今まで出来なかったことが出来るようになる。家族と過ごせなかった時間が取り戻せる。旅行にだって行けるようになる。これからの人生に希望を見出し、やりたいことが山のようにある。もう十分苦しい思いはしてきているじゃないか。それでも、遺族の想いまでを背負って生きていかなければならないのか？ もう自由になったっていいじゃないか。でも、父は死んで、その人は生きている。でも、父はその人に生かしてもらっている。その事に感謝したい、でも、その人も父に感謝してほしい。どんな言葉でも当てはまらない、きっと誰も説明の出来ない、もやもやと気持ちの悪い、エゴのようでもあり、誇らしげでもあり、苦しみなのか希望なのか、



よく遊んでもらったね

なんともいえない、答えのない感情が渦巻いていました。誰かの中で「生き続けられる」誰かに「一部だけでも生かしてもらえる」誰かを「生かしている」誰かの「役に立っている」そう思うことで、あなたの「死」を正面から受け止めることから逃げていたのかもしれない。

ようやく見つけた答え

今日ここでのご挨拶を考える中で、ようやくその答えが見つかりました。「あなたの分まで」生きるべきなのは、父の一部を受け継いだその二人ではありません。「あなたの分まで」生きるべきなのは、他の誰でもない、私達でした。あなたの遺志を継ぐのは、あなたが愛してくれた家族です。あなたは、確かに死んでしまっていて、もうこの世にはいないのです。でも、思い出の中のあなたは、あの時のままのあなたなのです。あなたの姿をいつまでも、その二人に重ね合わせてはいけません。私達があのときのまま、時間が止まったように思い出の中に立ち止まることは、きっとあなたも望んでいないでしょう。ことある毎に泣いてはいけません。前を見て進まなくてはいけません。きっとあなたもそう言うでしょう。だからこそ、お別れしなければなりません。今日、こうして、お別れを言えることも、すべてあなたがこの出来損ないの息子の為に、最後の最後まで導いてくれたことなんだと思う。

父へ

父さん、今日まで僕を育ててくれて、ありがとう。父さん、家族を大事にしてくれて、ありがとう。父さん、僕の父さんでいてくれて、ありがとう。生前あなたに紹介した女性と結婚しました。今から一ヵ月前に、僕は父親になりました。男の子です。名前には、父さんの名前を一字もらいました。出来ることなら、孫を抱かせてあげたかった。結婚式を見せてあげたかった。ずっと忘れることはないけど、言わなくちゃいけないと思うから、言います。父さん、さようなら。どうか安らかに。



生まれ変わり